



浅間ね

No.10 令和7年1月31日

軽井沢町立


軽井沢中部小学校

3学期がはじまりました！！

1月9日（木）に3学期始業式が行われ、今年度最後の学期がスタートしました。始業式では、校長先生から巳年にちなんで、「心の脱皮」というお話がありました。挑戦することでまた一つ自分が成長していくこと。これが「心の脱皮」です。3学期、どの子も挑戦し、努力し、楽しみ、4月からの新たなステージに向けてどんどん成長していってほしいです。

3学期の登校日数は、1～4年生が45日、5・6年生が46日です。1月も今日で最後ですので、残りの登校日数は、29日か30日です。授業参観で1年間の学習の成果を保護者の皆様にご覧いただくとともに、進級・進学に向けての準備をしていきます。これからも引き続き、学校及び子どもたちへのご支援、ご協力をお願いいたします。

2・3月の予定(詳細は学年だより等でお知らせしますので、その都度ご確認ください)

~~~~~2月~~~~~	~~~~~3月~~~~~
4日（火）低学年参観日 全校5時間授業	3日（月）おはなしくれよん
5日（水）4年スケート教室	6日（木）シェフ給食
7日（金）児童総会②	7日（金）6年生を送る会
10日（月）児童相談旬間④（～21日） 全校5時間授業 図書館閉館	10日（月）全校5時間授業
12日（水）5年スケート教室	11日（火）全校5時間授業
14日（金）中学年参観日 全校5時間授業	13日（木）全校5時間授業
17日（月）おはなしくれよん	14日（金）全校5時間授業
18日（火）高学年参観日 全校5時間授業	17日（月）3学期終業式 離任式 卒業式準備 全校5時間授業
	18日（火）卒業証書授与式 ※卒業生・5年生のみ登校
	27日（木）新6年登校 新年度準備



### 令和7年度 4月当初の予定について

- 4日（金）入学式・始業式（給食なし）
- 7日（月）4時間授業 2～6年給食開始
- 8日（火）～10日（木）5時間授業
- 10日（木）眼科検診3・6年
- 11日（金）4時間授業 1年給食開始
- 14日（月）6年内科検診
- 15日（火）1・4年心電図検査

- 16日（水）交通安全教室
- 17日（木）6年全国学力・学習状況調査
- 17日（木）～23日（水）保護者懇談会 4時間授業
- 24日（木）眼科検診2・5年
- 25日（金）授業参観 PTA総会 学年・学級懇談会
- 28日（月）内科検診2年

※上記は、現時点での予定となります。今後、変更する場合があります。次回2月末の「浅間ね」等で、次年度4月当初の予定を改めてお知らせいたします。年間の予定表は、4月当初に配布予定です。

## 相談窓口について

子育ての悩みやお子さんの友だち関係での悩み、発達に関する悩みなど、学校職員はもちろん、外部からも専門的な見地から相談に乗っていただける窓口があります。スクールカウンセラーの加藤千恵先生、スクールサポーターの小林真理先生、三井瑞穂先生が、担当していただけます。お子さんと一緒でも、保護者のみの相談でも対応できます。お気軽にご利用ください。担任、養護教諭、特別支援学級担任、教頭等にご連絡をいただければ、相談時間を確保いたします。

## 感染症対策をお願いします

現在、長野県は、昨年から引き続きインフルエンザの流行期です。2学期後半には、本校でもインフルエンザなどの感染症の拡散防止のため、学級閉鎖などをおこないました。ご理解、ご協力ありがとうございました。3学期も引き続き感染予防の取り組みをお願いします。また、感染した場合は、しっかり休んでいただければとも思います。

今後も、インフルエンザや新型コロナウイルスに感染した児童が一定数に達した場合は、学級閉鎖、学年閉鎖等を行います。その際は、急な連絡となりますが、ご理解ください。よろしくをお願いします。

## 転出に関わるお願い

年度末にご家庭の都合等で転出されるご家庭もあるかと思えます。転出することが決まった、もしくはその可能性がある場合は、早めに担任までお知らせください。よろしくをお願いします。また、以前担任に転出の可能性についてお話をくださったご家庭には、こちらの方から改めて確認をさせていただきます。ご理解、ご協力をお願いします。

## 軽井沢中部小学校 令和6年度全国学力・学習状況調査の分析と授業改善について

1月1日に軽井沢町立小中学校の結果が軽井沢町HPで公表されましたが、本校の様子についてお知らせします。

国語における平均正答率についてみると、全国、長野県と同等の結果となった。正答率分布においても11問以上正答した児童の割合が高く、学習内容を理解しながら学習活動を行っている様子がうかがえる。また、国語を苦手とする児童がいる現状はあるが、本校では正答率3問以下の児童が少ないという点も見られる。児童全体が学習状況調査の結果からポジティブに学習しているかという思いがあり、素直に学ぼうという姿勢がここのように結果につながったのではないかと考えられる。特に、漢字を苦手とする児童が多いため、漢字の問題は、全国平均、県平均を大幅に上回る結果となった。一方で、「書くこと」については、全国平均、県平均を大幅に上回る結果となった。目的や意図に気づいて集めている資料を分類したり、伝えたいことを明確にするというこころができてきている。また、漢字を多く取り入れるようにしている児童もいる。

算数における平均正答率についてみると、全国・県をともに上回る結果となった。また、正答率分布においても16問中14問正答した児童の割合が一番多く、全国や県と比較しても高い数値となった。一方で、算数への苦手意識を強く持っている児童もいる現状があるが、少数の児童が学習を担う教諭に算数を苦手とする児童の授業を丁寧に見せてもらっている中、意欲的に取り組んだ結果であると思われる。また、無回答の児童がいた問題は少なく、難しい問題の中でも一生懸命取り組み、努力する姿、粘り強く取り組む姿勢がみられた。今後、少人数での学習と連携を取りながら、算数学習の楽しさを伝える学習活動に取組んでいきたい。表現するような課題での正答率が高く、習得できている様子もみられる。しかし、図形(立体)に関しては、正答率が低かった。デジタル教材などのイメージを補助する教材に多く触れることが多いが、実物に触れて考えたり、自分の頭の中をイメージしたり、描いたりする経験や場面を活動に取り入れるようにして支援していきたい。また、立式や答えの理由を記述する課題も正答率が低いため、自分の考えを説明したり、友達との違いを考えたりなど、ただ答えを出さず、考えを導きだすようにしてほしい。また、答えを出さず、考えを説明したり、友達との違いを考えたりなど、ただ答えを出さず、考えを導きだすようにしてほしい。